

# 【様式2】B案

## 学士教育プログラム学習教育目標とURGCC学習教育目標との対応関係表

学士教育プログラム名称

人間行動 学士教育プログラム

	URGCC学習教育目標	自律性	社会性	地域・国際性	コミュニケーション・スキル	情報リテラシー	問題解決力	専門性	
	URGCC学習教育目標	自分自身が掲げる目標の達成に向けて、自律的に学習し行動することができる。	市民として社会の規範やルールを理解し、倫理性を身につけ、多様な人々と協調・協働して行動できる。	地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献することができる。	言語(日本語と外国語)とシンボルを用いてコミュニケーションを行い、自分の考えや意思を明確に表現することができる。	幅広い分野の情報や知識を多様なチャネルから収集し、適切に理解した上で取捨選択し、活用することができる。	批判的・論理的に思考するとともに、これまでに獲得した知識や経験等を総合して問題を解決することができる。	専攻する学問分野における思考法、スキル、知識等を体系的に身につけ、活用することができる。	
学士教育プログラム学習教育目標	各学問分野と関連した高度な専門的能力				○			○	
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 各履修コースにおいて専門的に学んでいく中で、学術論文を講読し、それに基づく議論を通して理解を深めていく少人数教育を行っている。この学習過程を通して専門分野の知識等を身につけるとともに、その知識およびそれに対する自己の見解を他者に説明できる能力の向上を目指しているため。								
	人間や地域、国際社会に対する知識・理解に基づく深い洞察力		○	○					
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 哲学・倫理学、教育社会学、心理学で得られた知見は、世界の多様な国や地域に共通して該当する一般性の高いものと国・地域に固有なものが存在することを理解することで人間一般や個人々々に対する深い洞察力を身につけさせることを目指しているため。								
	自律的な学習による多様な情報の収集とそれを駆使した問題解決能力	○					○	○	
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 自らの課題を認識し、自律的・計画的に目標を設定した上で、収集した情報を活用して問題の解決を図る能力を目指しているため。								
	(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)								
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)									